

No. 406

7月

1部200円 年間 2200円(千円)

郵便振替 00980-3-100681

草根おより

発行 日本消費者連盟関西グループ

大阪府柏原市旭ヶ丘3-13-5 高井方

〒582-0026 TEL 072-977-7620

よまひ

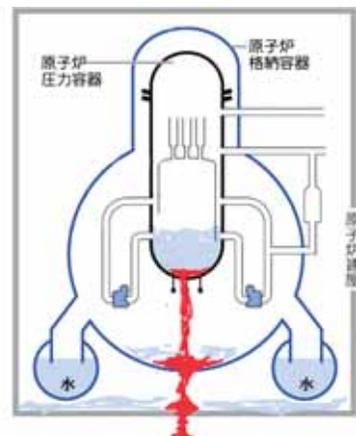
| | | | | |
|---|------------------------|-------|---------------------|----|
| も | ルトスルーした原子炉の放射能汚染との長い闘い | 1-3 | 社会保障・税番号制度 | 16 |
| く | 私が体験した原発震災 | 4-11 | 毎日ガチャとほろりん | 17 |
| じ | 主な原発情報 | 12-14 | 新米ムパのホリホリ日誌 | 18 |
| | 住民自治をめざして「大阪府構想」の正体 | 15 | 言論統制?—11 / イノフォーション | 14 |

ルトスルーした原子炉の放射能汚染との長い闘い

末田一秀 (はんげんぱつ新聞編集委員)

3月11日の震災から4カ月余り、東電が事故収束のための工程表で3カ月程度としていたステップ1の期限を迎えたこととなります。原子炉と使用済み燃料プールの安定的な冷却ができればステップ1からステップ2へ移行できるのですが、12万トンを超えた汚染水をくみ出し、浄化した上で冷却に再使用する処理装置は、米キュリオン社製、仏アレバ社製などの継ぎはぎで、たびたび停止しています。

原子炉の安定的な冷却が目安ですが、核燃料は原子炉压力容器の中に残っているのでしょうか。核燃料が压力容器の底に溶け落ちるメルトダウンを認めていなかった東電ですが、1号炉では地震当日にメルトダウンが始まっていたことを、5月12日に認めました。5月24日に2、3号炉でもメルトダウンが起きていることを認めています。核燃料は、今や压力容器の底を突き破り、その外側の格納容器をも溶かして、さらに落下していていると考えられています。原子炉建屋の地下にめり込み、地下水を汚染すると、やがては海に流れ出し、高濃度の海域汚染が避けられません。このため、6月17日に2度目の改訂をされた工程表では、ステップ2で地下水のしゃへい壁の検討を行うことになっています。汚染拡大防止を求める声に配慮して、それまでの工程表にはなかった項目が追加されたのです。工程表では



検討に基づく実際の工事は、来年1月以降のステップ3に位置付けられています。しかし、細野原発担当大臣は、ステップ2の期間中に工事に着手できるよう調整していると、7月12日に述べています。それだけ、危機が切迫しているとも言えるでしょう。地下にダムを造るような大がかりな工事は過去に例がなく、費用も1000億円以上と試算されており、実現までには紆余曲折が予想されます。

深刻な労働者被曝

6月17日に改訂された工程表では、原発作業員の「放射線管理、医療体制の改善」という項目も追加されています。法令では労働者の被曝基準は、5年間で100ミリシーベルト、1年間で50ミリシーベルトとされていますが、緊急時は100ミリシーベルトまで緩和されます。さらに今回の福島事故に限り最大250ミリシーベルトまで認めるという特例措置がとられています。

ところが、東電は5000台あった線量計が地震や津波で320台しか使えなくなったとして、3月中は線量計すら持たせずに高いレベルの構内での作業を強いてきました。同じ作業をするグループに1台あるかないかといった状況で、多い日には180人が線量計を持っていなかったと認めています。3月の末になって保安院から指導を受けると柏崎刈羽原発から取り寄せたそうで、その気になればすぐに改善できる問題であったことも明らかになっています。

事故時に19人いた女性のうち4人は一般職で、放射線管理区域に入って仕事をする放射線業務従事者ではありません。本来被曝してはいけないこの4人が2.27~3.42ミリシーベルト被曝をしたことも問題です。妊娠の可能性がある女性の被曝基準は3カ月で5ミリシーベルトで、残りの15人のうち2人はこの基準を超えていました。(17.55ミリシーベルトと7.49ミリシーベルト)

男性はもっと深刻な被曝量です。被曝量の確定のためには、作業に従事する際に身につける線量計で外部被曝を計測するとともにホールボディカウンター(WBC)にかかって内部被曝を測定する必要があります。ところが、福島第一原発にあるWBCは周囲の放射線量が高いために使用不能。福島第二原発などでWBC検査を行った結果が、7月13日に東電から発表されています。それによれば、特例で緩和された250ミリの基準を超えたのが6人。200ミリ超~250ミリが3人。150ミリ超~200ミリが14人。100ミリ超~150ミリが88人。6792人を検査した結果、緩和前の基準100ミリを超えていたのが合計すると111人となります。しかも1546人の検査はまだ終わっていません。そのうち132人は連絡すら取れない状態だそうです。原発ジプシーと呼ばれる下請け労働の実態が垣間見えます。

混乱を極める震災がれき処理

先月号で報告した放射能汚染した震災がれきの焼却については、災害廃棄物安全評価検討会のお墨付きを得た環境省が、6月23日に「福島県内の災害廃棄物の処理の方針」を示して認めてしまいました。調べてみると、原子力安全委員会が6月3日に出した「東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた廃棄物の処理処分等に関する安全確保の当面の考え方」をよりどころにしています。この安全委員会の「当面の考え方」では、「処理・輸送・保管に伴い、周辺住民の受ける線量が1ミリシーベルト/年を超えないこと」が求められています。一般人の法令基準は年間1ミリで

すから、一見もっともらしいのですが、環境汚染や食品汚染で被曝を余儀なくされている上に廃棄物処理の被曝が上乘せされるのですから、目安は余裕を見て2ケタほど低くされているべきなのです。

がれきや上下水道汚泥の焼却では、セシウムが煙突から拡散することが心配ですが、環境省などは焼却灰、集塵灰に大部分は移行するとしています。集塵灰に高濃度のセシウムが検出されているのは事実で、1キロ当たり8000ベクレルを超えるものは埋立処分せず、当面保管の方針が示されてきました。しかし、この基準を10万ベクレルまで引き上げる検討が始まっています。

さらにショックなニュースとしては、郡山でブロック塀を無許可で収集したとして廃棄物処理法違反で捕まった男性が処分保留で釈放されたというものもあります。理由が、廃棄物処理法では廃棄物は「放射性物質に汚染されたものは除く」と定義されていて、法律が適用できないというのです。大なり小なり汚染されている震災がれきの類を不法投棄しても罪に問えないことになります。原発構外での放射能汚染など想定していなかったため、法の空白が生じています。

さよなら原発 1000 万人アクション

内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔といったそうそうたるメンバーの呼びかけで、「原発にさようなら集会」が準備され、1000万人署名が始まりました。呼びかけ文から引用します。

「原子力と人間の共生など、けっしてありえないことなのですが、それに気づいていながらも、私たちの批判の声と行動があまりにも弱かった、と深く悔やんでおります。いま原発を拒否する声はさまざまな運動となって広がっていますが、わたしたちはこれまでの怠慢を反省し、政府や財界や電力会社などが、原発推進の巻き返しにでないためにも、さらに大きな市民の力で、原発依存の生活から脱却する道をあゆみだしたい、と念願します。わたしたちは、自然を収奪し、エネルギーを無限に浪費する生活を見直し、自然エネルギーを中心とする「持続可能な平和な社会」にむかうために行動します。その目標です。

1. 新規原発建設計画の中止
2. 浜岡からはじまる既存原発の計画的廃止。
3. もっとも危険なプルトニウムを利用する「もんじゅ」、「再処理工場」の廃棄。

これらを実現して、わたしたちの生存と未来の子どもへの責任を果たします。

「原発にさようなら集会」を、つぎの要領で開催いたします。どうか皆さんでご参加ください。

日時.....2011年9月19日 13:00~

場所.....東京・明治公園 集会規模.....5万人(集会後、パレードがあります)

この夏、定期検査で止まった原発の再稼働はなくなりました。原発なしでも電気の供給に問題がないことを事実が証明するでしょう。脱原発を政策として確定させるためには、もうひと押しが必要です。そのために署名などで、私たちの声を形にして示していきましょう。

「福島・柏崎刈羽の原発震災 活かされなかった警告」(七つ森書館)

反原発運動全国連絡会編 末田一秀・武本和幸著 900円 注文はFAX072-777-9269